



令和4年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和3年11月5日

上場会社名 株式会社サイネックス 上場取引所 東
コード番号 2376 URL <http://www.scinex.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田吉優
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 浅田政史 TEL 06-6766-3333
四半期報告書提出予定日 令和3年11月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年3月期第2四半期の連結業績（令和3年4月1日～令和3年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|------------|-------|-------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 4年3月期第2四半期 | 6,560 | 17.3 | 37 | - | 65 | - | 11 | - |
| 3年3月期第2四半期 | 5,592 | △16.3 | △167 | - | △163 | - | △99 | - |

(注) 包括利益 4年3月期第2四半期 11百万円 (-%) 3年3月期第2四半期 △105百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 4年3月期第2四半期 | 2.02 | - |
| 3年3月期第2四半期 | △18.24 | - |

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年3月期第2四半期に係る各数値については、当会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 4年3月期第2四半期 | 13,800 | 6,980 | 50.6 |
| 3年3月期 | 13,825 | 7,075 | 51.2 |

(参考) 自己資本 4年3月期第2四半期 6,980百万円 3年3月期 7,075百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年3月期第2四半期に係る各数値については、当会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 3年3月期 | - | 0.00 | - | 12.50 | 12.50 |
| 4年3月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 4年3月期(予想) | - | - | - | 12.50 | 12.50 |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年3月期の連結業績予想（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| 通期 | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| | 14,000 | 7.8 | 500 | 79.3 | 500 | 50.4 | 300 | 32.6 | 54.97 |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|---------|------------|---------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 4年3月期2Q | 6,470,660株 | 3年3月期 | 6,470,660株 |
| ② 期末自己株式数 | 4年3月期2Q | 862,677株 | 3年3月期 | 1,012,677株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 4年3月期2Q | 5,535,032株 | 3年3月期2Q | 5,457,983株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において当社グループは、地域社会への貢献という経営理念に基づき、地方自治体や地域事業者のパートナーとして、広報やプロモーションを通じてサポートいたしました。また、官民協働による行政情報誌『わが街事典』の発行やデジタルサイネージ『わが街NAVI』の設置など、地方創生プラットフォーム構想により、地方創生支援事業に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、前年同期は新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大の影響を受けたこともあり、売上高は対前年同期比17.3%増の65億60百万円、営業利益は37百万円（前年同期は1億67百万円の営業損失）、経常利益は65百万円（前年同期は1億63百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11百万円（前年同期は99百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

また、ヘルスケア事業への参入を目的として、令和3年7月21日に、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士への歯科医療機械器具・歯科材料の販売をはじめ、歯科医新規開業プランニングやアフターサービス（メンテナンス）などをおこなう有限会社マルヤマ歯科商店（令和3年9月13日付にて株式会社マルヤマ歯科商店に商号変更）を連結子会社化いたしました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。なお、当第2四半期連結会計期間より、有限会社マルヤマ歯科商店を連結子会社化してヘルスケア事業を開始したため、「ヘルスケア事業」を報告セグメントに追加しております。また、第1四半期連結会計期間より従前の「出版事業」は「メディア事業」に、「不動産事業」は「投資事業」に改称しております。

①メディア事業

メディア事業におきまして、官民協働による行政情報誌『わが街事典』は、新規自治体の開発に努めるとともに、既存自治体との改訂版の発行に取り組み、岐阜県各務原市や埼玉県ふじみ野市などで新たに発行するとともに、大阪府和泉市や福岡県糸島市などで改訂版を発行するなど、当第2四半期連結累計期間において103の市区町村と共同発行した結果、当第2四半期連結会計期間末における累計の共同発行自治体数は1,008、改訂版を含めた累計発行版数は2,053となりました。また、子育てや障がい福祉などジャンル別行政情報誌の発行に取り組むとともに、50音別電話帳『テレパル50』は、引き続き行政情報や特集企画を掲載した電話帳の発行を進めました。メディア事業の外部顧客への売上高は、対前年同期比4.1%増の32億16百万円、セグメント利益は対前年同期比84.2%増の5億30百万円となりました。

②ICTソリューション事業

ICTソリューション事業におきまして、デジタルトランスフォーメーションの促進を目的として、デジタルサイネージ『わが街NAVI』や、Googleマイビジネスの拡大に取り組みました。『わが街NAVI』は佐賀県小城市などと協働で市庁舎に設置するとともに、埼玉県さいたま市と協働で大型商業施設イオンモール浦和美園に設置、学校法人岩手医科大学と同大学付属内丸メディカルセンターに設置するなど、設置個所の拡大をはかりました。事業者の店舗や事務所をインターネット上のGoogleマップに表示するGoogleマイビジネスも顧客拡大に努めました。

自治体向けとして、住民の質問に対しAIが自動応答する「AIを活用した総合案内サービス」AIチャットボットの導入を進めており、当第2四半期連結累計期間において大阪府守口市や北海道岩見沢市などと契約を締結いたしました。また、ふるさと納税支援事業にも引き続き取り組みました。

eコマース事業は、『わが街とくさんネット』や『食彩ネット』等の物販は地方生産者への販路提供とコロナ禍において在宅が多くなった消費者の生活支援とをマッチングし、堅調に推移いたしました。また、新たな取り組みとして、コロナ禍における地域の企業や生産者を応援するため、岩手県や神戸商工会議所と名産品のオンライン物産展を開始いたしました。

これらの結果、外部顧客への売上高は対前年同期比19.1%増の10億6百万円、セグメント利益は13百万円（前年同期は89百万円のセグメント損失）となりました。

③ロジスティクス事業

ロジスティクス事業におきまして、DM発送代行事業は、新規の代理店獲得や既存顧客の取引拡大につとめ、ポストイン事業も既存顧客との紐帯強化に努めた結果、外部顧客への売上高は対前年同期比29.9%増の21億25百万円、セグメント利益は販路拡大のためのコスト増により、対前年同期比37.0%減の20百万円となりました。

④ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきまして、連結子会社株式会社マルヤマ歯科商店は、歯科医師向けの歯科医療機械器具・歯科材料の販売に努め、外部顧客への売上高は1億74百万円（前年同期の売上高はなし）、セグメント損失は1百万円（前年同期は1百万円のセグメント損失）となりました。

⑤投資事業

投資事業におきまして、当社の不動産賃貸収入による外部顧客への売上高は、当連結会計年度より新本社のテナント賃貸事業を開始したこともあり、対前年同期比90.2%増の36百万円、セグメント利益は対前年同期比118.3%増の24百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、138億円となり、前連結会計年度末比25百万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産（前連結会計年度の勘定科目は受取手形及び売掛金）の減少額3億4百万円等に対し、現金及び預金の増加額1億63百万円、リース資産の増加額72百万円、のれんの増加額40百万円等によるものであります。

負債は、68億19百万円となり、前連結会計年度末比70百万円の増加となりました。その主な要因は、賞与引当金の増加額99百万円、流動負債のその他の増加額65百万円、リース債務の増加額76百万円（1年内返済予定のもの含む）等に対し、買掛金の減少額2億5百万円等によるものであります。

なお、純資産は69億80百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末比0.6ポイント下降し、50.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は39億25百万円となり、前連結会計年度末と比較して57百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」については、営業活動の結果得られた資金は3億79百万円（前年同期比888.3%増）となりました。これは主に、売上債権の減少額3億76百万円、その他の増減額1億1百万円、賞与引当金の増加額99百万円、減価償却費96百万円等の収入に対し、仕入債務の減少額2億91百万円等の支出によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」については、投資活動の結果使用した資金は2億24百万円（前年同期比61.6%減）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出3億10百万円、定期預金の預入による支出2億99百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1億15百万円、有形固定資産の取得による支出1億5百万円等に対し、定期預金の払戻による収入2億44百万円、投資有価証券の売却による収入1億79百万円、投資有価証券の償還による収入1億30百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」については、財務活動の結果使用した資金は97百万円（前年同期は33億82百万円の収入）となりました。これは主に、配当金の支払額68百万円、長期借入金の返済による支出25百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年3月期の業績予想につきましては、令和3年5月14日に公表いたしました「令和3年3月期決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和3年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (令和3年9月30日) |
|----------------|------------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,398,968 | 4,562,518 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,602,299 | — |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | — | 1,297,666 |
| 有価証券 | 30,000 | 30,123 |
| 商品及び製品 | 55,226 | 52,206 |
| 仕掛品 | 20,734 | 28,910 |
| 原材料及び貯蔵品 | 22,265 | 16,935 |
| その他 | 241,700 | 210,931 |
| 貸倒引当金 | △21,754 | △9,440 |
| 流動資産合計 | 6,349,441 | 6,189,852 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,265,606 | 2,264,536 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 151,949 | 150,195 |
| 土地 | 2,724,244 | 2,737,024 |
| リース資産(純額) | — | 72,368 |
| その他(純額) | 27,982 | 48,430 |
| 有形固定資産合計 | 5,169,783 | 5,272,554 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 255,416 | 296,052 |
| その他 | 35,020 | 36,444 |
| 無形固定資産合計 | 290,437 | 332,496 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 519,312 | 517,472 |
| その他 | 1,501,567 | 1,492,576 |
| 貸倒引当金 | △4,837 | △4,537 |
| 投資その他の資産合計 | 2,016,042 | 2,005,511 |
| 固定資産合計 | 7,476,262 | 7,610,561 |
| 資産合計 | 13,825,704 | 13,800,413 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和3年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (令和3年9月30日) |
|---------------|------------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 984,312 | 778,442 |
| 短期借入金 | 50,000 | 50,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 85,829 | 182,985 |
| リース債務 | — | 16,184 |
| 未払法人税等 | 66,426 | 86,219 |
| 前受金 | 162,836 | 189,473 |
| 賞与引当金 | 144,971 | 244,898 |
| その他 | 359,979 | 425,720 |
| 流動負債合計 | 1,854,355 | 1,973,925 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,564,170 | 3,474,417 |
| リース債務 | — | 60,205 |
| 役員退職慰労引当金 | 105,805 | 89,513 |
| 退職給付に係る負債 | 1,201,778 | 1,192,797 |
| その他 | 23,785 | 29,105 |
| 固定負債合計 | 4,895,538 | 4,846,039 |
| 負債合計 | 6,749,894 | 6,819,964 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 750,000 | 750,000 |
| 資本剰余金 | 1,137,583 | 1,047,847 |
| 利益剰余金 | 5,801,934 | 5,705,857 |
| 自己株式 | △606,836 | △516,950 |
| 株主資本合計 | 7,082,681 | 6,986,755 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,594 | 8,643 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △13,466 | △14,949 |
| その他の包括利益累計額合計 | △6,871 | △6,306 |
| 非支配株主持分 | — | — |
| 純資産合計 | 7,075,810 | 6,980,449 |
| 負債純資産合計 | 13,825,704 | 13,800,413 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 5,592,262 | 6,560,837 |
| 売上原価 | 2,948,720 | 3,620,368 |
| 売上総利益 | 2,643,541 | 2,940,469 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,811,120 | 2,903,342 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △167,579 | 37,126 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 262 | 2,434 |
| 受取配当金 | 2,956 | 6,321 |
| 受取家賃 | 3,257 | 3,793 |
| 複合金融商品評価益 | 4,693 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 300 | 12,959 |
| 為替差益 | — | 3,560 |
| 投資有価証券売却益 | — | 10,628 |
| その他 | 7,569 | 12,862 |
| 営業外収益合計 | 19,040 | 52,559 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,617 | 8,345 |
| 複合金融商品評価損 | — | 15,422 |
| 為替差損 | 8,915 | — |
| その他 | 50 | 128 |
| 営業外費用合計 | 14,584 | 23,896 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △163,122 | 65,789 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 8,681 | — |
| 関係会社株式売却益 | 27,431 | — |
| 特別利益合計 | 36,112 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,509 | 1,216 |
| 固定資産売却損 | 195 | — |
| 特別損失合計 | 2,705 | 1,216 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △129,715 | 64,573 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 26,827 | 65,612 |
| 法人税等調整額 | △56,977 | △12,243 |
| 法人税等合計 | △30,149 | 53,369 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △99,566 | 11,204 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △99,566 | 11,204 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △99,566 | 11,204 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,582 | 2,048 |
| 退職給付に係る調整額 | △3,532 | △1,483 |
| その他の包括利益合計 | △6,115 | 565 |
| 四半期包括利益 | △105,681 | 11,769 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △105,681 | 11,769 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △129,715 | 64,573 |
| 減価償却費 | 43,682 | 96,435 |
| のれん償却額 | 8,774 | 18,647 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 29,057 | △13,624 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 2,141 | △16,291 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 57,306 | 99,426 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 13,897 | △11,133 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,219 | △8,756 |
| 支払利息 | 5,617 | 8,345 |
| 為替差損益(△は益) | 8,915 | △3,560 |
| 複合金融商品評価損益(△は益) | △4,693 | 15,422 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △10,628 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 574,956 | 376,284 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 50,573 | 19,130 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △254,182 | △291,801 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △189,402 | △31,055 |
| その他 | △51,059 | 105,834 |
| 小計 | 162,650 | 417,249 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,209 | 7,464 |
| 利息の支払額 | △6,335 | △8,586 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △121,145 | △36,843 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 38,379 | 379,282 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △328,000 | △299,614 |
| 定期預金の払戻による収入 | 241,000 | 244,900 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △310,000 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 179,875 |
| 投資有価証券の償還による収入 | — | 130,000 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △115,907 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | 6,609 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △511,879 | △105,633 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 19,113 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △18,764 | △11,613 |
| 貸付金の回収による収入 | 6,300 | 7,156 |
| 保険積立金の積立による支出 | △1,347 | △785 |
| 保険積立金の払戻による収入 | — | 57,807 |
| 預り保証金の返還による支出 | △999 | △999 |
| 預託金の返還による収入 | 29 | 29 |
| その他 | 2,260 | △39 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △585,679 | △224,823 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △200,000 | — |
| リース債務の返済による支出 | — | △3,870 |
| 長期借入れによる収入 | 3,650,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | — | △25,256 |
| 自己株式の処分による収入 | — | 150 |
| 配当金の支払額 | △67,135 | △68,077 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,382,864 | △97,054 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 2,835,564 | 57,405 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,998,660 | 3,867,967 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,834,225 | 3,925,373 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|-------------------------|---------------|-------------|--------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | メディア 事業 | I C T ソリ ューション 事業 | ロジスティ クス事業 | ヘルスケア 事業 | 投資事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,090,523 | 845,413 | 1,637,083 | — | 19,241 | 5,592,262 | — | 5,592,262 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,308 | 3,980 | 266,149 | — | — | 271,438 | △271,438 | — |
| 計 | 3,091,831 | 849,394 | 1,903,233 | — | 19,241 | 5,863,700 | △271,438 | 5,592,262 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 287,793 | △89,587 | 32,281 | △1,023 | 11,031 | 240,494 | △408,073 | △167,579 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△408,073千円には、セグメント間取引消去4,761千円、のれんの償却額△8,774千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△404,060千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自令和3年4月1日 至令和3年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|----------------------|---------------|-------------|--------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | メディア 事業 | ICTソリ ューション 事業 | ロジスティ クス事業 | ヘルスケア 事業 | 投資事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,216,980 | 1,006,656 | 2,125,787 | 174,810 | 36,602 | 6,560,837 | — | 6,560,837 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,266 | 8,428 | 174,317 | — | — | 184,012 | △184,012 | — |
| 計 | 3,218,247 | 1,015,084 | 2,300,105 | 174,810 | 36,602 | 6,744,850 | △184,012 | 6,560,837 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 530,120 | 13,865 | 20,337 | △1,920 | 24,081 | 586,483 | △549,357 | 37,126 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△549,357千円には、セグメント間取引消去3,165千円、のれんの償却額△18,647千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△533,874千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「ICTソリューション事業」の売上高が72,244千円減少し、セグメント利益が42,807千円減少しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より、「出版事業」はペーパーメディア事業に加えデジタルメディアも加えたメディア全般を取り扱うことを明確にするため「メディア事業」に、「不動産事業」は投資全般を取り扱う部門とするため「投資事業」に報告セグメントの名称を変更しております。また、当第2四半期連結会計期間より、有限会社マルヤマ歯科商店を連結子会社化してヘルスケア事業を開始したため、「ヘルスケア事業」を報告セグメントに追加しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ヘルスケア事業」において、当第2四半期連結会計期間より、令和3年7月21日付で株式を取得した有限会社マルヤマ歯科商店を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては59,283千円であります。